

葉月 ひふみのあゆみ

ひふみ投信 8月度 ご報告書

2009年9月7日号

レオス・キャピタルワークス株式会社
金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第1151号
加入協会: 社団法人投資信託協会
社団法人日本証券投資顧問業協会



RHEOS CAPITAL WORKS

葉月 (8月)

葉の落ちる月「葉落ち月」が転じて「葉月」になったそうです。8月と聞くと真夏の暑さを想像してしまいがちですが、新暦では9月上旬から10月上旬にあたります。8月の初めに立秋があるように、そろそろ、木の葉も色づいて落葉するかな、という季節にあたるのでしょうか。天候不順が続いた今年の夏ですが、楽しい夏の思い出はつくれましたか？



運用責任者から皆さまへのメッセージならびに2009年8月の運用状況などをご報告いたします。

■ 8月のひふみ投信の運用環境・今後の見通し

ひふみは引き続き「守りながらふやす」

8月の株式市場は「鯨幕相場」という珍しい相場状況が続いていました。それは株式市場の上昇する日(○)と下落する日(●)が交互に来るといった相場です。8月14日から14営業日連続でこの白と黒が交互しました。これは東京証券取引所が始まって以来の珍記録だそうです。ちょうど8月30日が総選挙でしたから、総選挙を前に上昇すべきなのか下落すべきなのか市場が気迷いをしてきた現れです。こう着相場をあらわすひとつの現象なのだと思います。

日本の株式市場は短期的に十分に上昇をしました。それは総悲観から楽観へと移行する過程で起きたものです。一方で、日本の景気そのものはまだ株式市場の上昇ほどは回復していません。そして新政権のもとにさらに上昇するという期待感もある。しかし足元をみると回復はおぼつかない。そこにこう着相場をあらわす鯨幕相場の出現です。

もともとひふみ投信は慎重に運用をしていましたし、今後もその方針に変わりはありません。ここで強行に出て、むやみに勝負に出るよりは慎重な姿勢を貫き、現金比率を高めておくという考え方に変わりはありません。保有銘柄を厳しく精査し、厳しい状況でも逆に成長をし株価の上昇を見込める会社をしっかりと保有し続けることにより、お預かりしている資産を「守りながらふやす」ことに集中していきたいと考えております。これからもひふみ投信をよろしくご依頼申し上げます。

(ひふみ投信 運用責任者 藤野英人)

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

■ ひふみ投信の特色について

ひふみ投信は、お客さまの長期的な資産形成に貢献するために、円貨での信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、国内・外の上場株式に投資することにより、積極運用を行ないます。

■ 基準価額について（「ひふみ投信」の値段のことです）

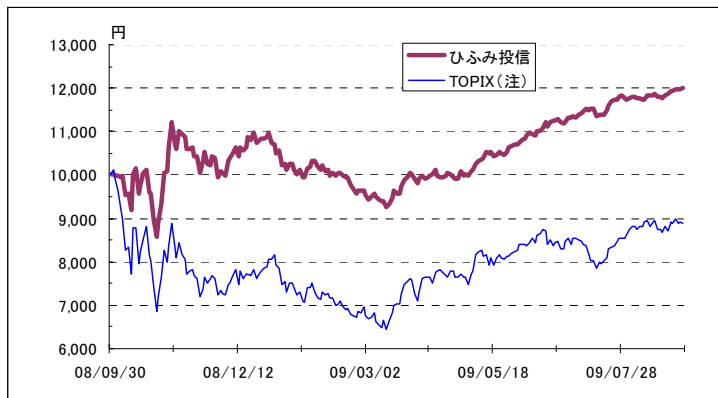
基準価額	
2009年8月31日時点	
1万口当り 12,020円	

基準価額のおゆみ [騰落率]		TOPIX騰落率
過去1ヵ月	2.05%	1.63%
過去3ヵ月	12.34%	7.55%
過去6ヵ月	24.75%	27.62%
設定来	20.20% (※1)	-11.19% (※2)

※1 設定来の基準価額の騰落率は、当初募集価額(10,000円)から2009年8月31日までにおける数値です。

※2 設定来のTOPIX騰落率は、当初設定日前日である2008年9月30日から2009年8月31日までにおける数値です。

◆ 基準価額の推移



(注) TOPIXは、当初設定日前日である2008年9月30日の値(10874.1)を10,000として指数化しています。

※基準価額は、信託報酬(年1.029%(税抜年0.980%))を控除した後の数値です。

TOPIX(東証株価指数)は当ファンドのベンチマーク(運用する際に目標とする基準)ではありませんが、参考として記載しています。TOPIXとは・・・東京証券取引所第一部に上場されているすべての銘柄の時価総額(株数×1株当り時価)を指数化したものです。日本の株式市場全体の動きをあらわすともいえます。

■ 「ひふみ投信」の資産内容について (2009年8月31日時点)

皆さまからお預かりした大切なご資金で、どのように運用を行なっているのかをご報告いたします。

□ 資産の内訳

純資産総額	4.25億円
うち 株式	53.01 %
うち 預金その他	46.99 %
受益権総口数 (※)	353,857,681口

国別の割合	
日本株式	100 %
海外株式	0 %

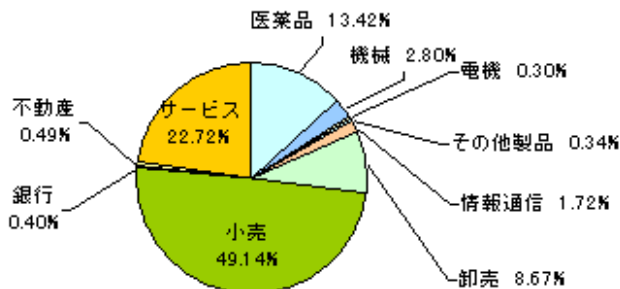
(※・・・「ひふみ投信」をお持ちのお客様の保有口数合計です)

□ 組入比率の高い銘柄 (組入銘柄数: 27銘柄)

	銘柄名	業種	比率
1	ニトリ	小売	5.25%
2	タビオ	卸売	4.58%
3	総合メディカル	サービス	4.49%
4	アスクル	小売	4.27%
5	ファーストリテイリング	小売	4.19%
6	ヤマダ電機	小売	3.91%
7	ツムラ	医薬品	3.65%
8	ワタミ	小売	3.62%
9	スタジオアリス	サービス	2.95%
10	ゼンショー	小売	2.89%

★組入比率は、株式・預金その他を含めた「純資産総額」に対する割合です。

■ 組入銘柄の業種比率



(注)業種比率は、「株式資産」を100として、それに対する割合です。

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

◆「ひふみ投信」の概要について ※詳しくは投資信託説明書(目論見書)をご確認ください

商品分類	追加型投信／内外／株式	
当初設定日	平成20年10月1日	
信託期間	無期限	
決算	毎年9月30日(休業日の場合、翌営業日)	
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。	
お申込み	お申込単位	10,000円以上1円単位の金額指定でお申し込みください。 なお、収益分配金の再投資は、1円以上1円単位となります。
	お申込価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額となります。
	お申込受付日時	当社営業日の9時～15時までとなります。(半日営業日は11時まで)
途中換金	途中換金(解約)単位	1口以上または1円以上
	解約価額	「解約請求受付日」の翌営業日の基準価額となります。
	受付日時	当社営業日の15時(半日営業日は11時)までとなります。 解約のご請求は、お電話による受け付けのみとなります。
課税関係	収益分配時の普通分配金、一部解約時および償還時の差益に対して課税されます。 ※今後税法が改正された場合などには、課税関係が変更になる場合があります。	

◆「ひふみ投信」に係るリスクについて

「ひふみ投信」は、国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります(株価変動リスク)。外貨建資産を組み入れた場合、為替レートの変動の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。投資国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、「ひふみ投信」の基準価額が大きく変動するリスクがあります(為替変動リスクとカントリーリスク)。したがって、お客様(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。この他には、流動性リスクや信用リスク等があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

◆お客様の負担となる費用について

◇お客様に直接ご負担いただく費用 : ありません

申込手数料・換金(解約)手数料・信託財産留保額 は一切ありません。

なお、「振込購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇お客様に間接的にご負担いただく費用 : 次のとおりです

信託報酬	信託財産の純資産総額に対して年1.029%(税抜年0.980%)
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年0.00525%(税抜年0.005%)
その他の費用	組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料(それにかかる消費税) 先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用 租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など

※「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。

～お問い合わせ先～

コミュニケーション・センター

電話: 03-6266-0123 (平日9時～17時)

メール: cc@rheos.jp

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行なっていただきますようお願いいたします。